

大学番号 私立199

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

京都先端科学大学 工学部 機械電気システム工学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人永守学園
令和3年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

＜機械電気システム工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人永守学園

(2) 大 学 名

京都先端科学大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒615-8577

京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナガモリ シゲノブ) 永守 重信 (平成30年3月)		
学 長	(マエダ マサフミ) 前田 正史 (平成31年4月)		
学 部 長	(タバタ オサム) 田畑 修 (令和2年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 機械電気システム工学科 学士(工学)	工学関係	4年	200人	年次人	800人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員							200人 () []	人	200人 () []	人			
志願者数							951 (-) [1]	() () []	703 (-) [1]	255 (-) [237]			
受験者数							886 (-) [1]	() () []	654 (-) [1]	255 (-) [237]			
合格者数							250 (-) [1]	() () []	255 (-) [1]	226 (-) [219]			
B 入学者数							123 (-) [1]	() () []	99 (-) [1]	48 (-) [42]			
入学定員超過率 B/A							0.61		0.49 0.73				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次							123 [1] [-] () ()		115 [1] [42] (16) (-)	48	令和3年9月16日現在
2 年次									105 [1] [-] () (-)		
3 年次											
4 年次											
計							123 [1] (-)		220 268 [2] 44 (16)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 ㋍)	退学者数 ㋎)	内訳			主な退学理由 留学生の理由は〔 〕書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成 29年度			平成 29年度			
平成 30年度			平成 29年度			
			平成 30年度			
令和元年度			平成 29年度			
			平成 30年度			
			令和元年度			
令和 2年度	123 人	0 人	平成 29年度	人	人	
			平成 30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和 2年度	0 人	0 人	
令和 3年度	222 268 人	2 人	平成 29年度	人	人	
			平成 30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和 2年度	2 人	0 人	病気の為 〔人〕、除籍 〔人〕
			令和 3年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		人	人	

注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、就学意欲の低下 (〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

記入項目例) 就学意欲の低下 学力不足 他の教育機関への入学 転学 海外留学
就職 学生個人の心身に関する事情 家庭の事情 除籍 その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成 29年度】

$$\frac{\text{平成 29年度の退学者数 (a)}}{\text{平成 29年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{\text{\#REF!}} = \text{\#REF!} \%$$

【平成 30年度】

$$\frac{\text{平成 30年度の退学者数 (a)}}{\text{平成 30年度の在学者数 (b)}} = \frac{\text{\#REF!}}{\text{\#REF!}} = \text{\#REF!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数 (a)}}{\text{令和元年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{\text{\#REF!}} = \text{\#REF!} \%$$

【令和 2年度】

$$\frac{\text{令和 2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和 2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{123} = 0 \%$$

【令和 3年度】

$$\frac{\text{令和 3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和 3年度の在学者数 (b)}} = \frac{2}{268} = 0.74 \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜工学部 機械電気システム工学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
大学 共通科目	未来 展望 科目	コミュニティの再生 生命の歩みと未来	1前	2							1
		生命の歩みと未来	1前	2							1
		グローバル化と多様性	1前	2							1
		クオリティ・オブ・ライフの探究	1前	2							1
		未来展望ゼミ	1前	2							4
	公民 教養 科目	日本国憲法	1前	2							1
		健康スポーツ理論	1前	2							1
		法学	1前	2							1
		生命倫理学	1前	2							1
		人権の歴史と現代	1前	2							1
		宗教学	1前	2							1
		哲学概論	1前	2							1
		日本経済入門	1前	2							1
		経営学総論	1前	2							1
		生物学	1前	2							1
		化学	1前	2							2
		小計 (6科目)	—	0	32	0	0	0	0	0	19
	英語 科目	英語文法Ⅰ	1前	2							7
		英語文法Ⅱ	1後	1							7
		工学英語Ⅰ	1前	2							7
		工学英語Ⅱ	1後	2							7
		アクティブ・リーディング	1前	2							7
		アクティブ・リスニング	1前	2							7
		英会話Ⅰ	1前	2							7
		英会話Ⅱ	1後	2							7
		英会話Ⅲ	2前	1							7
		英会話Ⅳ	2後	1							7
		アカデミックライティングⅠ	2前	1							7
		アカデミックライティングⅡ	2後	1							7
		プレゼンテーション	2前	1							7
		ディスカッション	2後	1							7
		上級英語Ⅰ	2前	1							3
		上級英語Ⅱ	2後	1							3
大学 共通科目	日本語 科目	留)日本語文字 語彙 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語聴解 会話 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語聴解 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語作文 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語文法 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語文字 語彙 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語聴解 会話 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語聴解 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語作文 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語文法 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語文字 語彙 応	2前	1							1
		留)日本語聴解 会話 応用	2前	1							1
		留)日本語聴解 応用	2前	1							1
		留)日本語聴解 応用Ⅱ	2前	1							1
		留)日本語作文 応用	2前	1							1
		留)日本語総合Ⅰ	2後	1							1
		留)ビジネス日本語	2後	1							1
		留)新聞読解演習	2後	1							1
		留)日本語総合Ⅱ	2後	1							1
		留)ビジネス日本語Ⅱ	2後	1							1
		留)論文読解演習	2後	1							1
大学 共通科目	第2 外国語	ベーシック中国語Ⅰ	2前	1							1
		ベーシック中国語Ⅱ	2後	1							1
		ベーシック韓国語Ⅰ	2前	1							1
		ベーシック韓国語Ⅱ	2後	1							1
		ベーシックドイツ語Ⅰ	2前	1							1
		ベーシックドイツ語Ⅱ	2後	1							1
		ベーシックフランス語Ⅰ	2前	1							1
		ベーシックフランス語Ⅱ	2後	1							1
		小計 (45科目)	—	20	32	0	0	0	0	0	17

【令和3年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
大学 共通科目	未来 展望 科目	コミュニティの再生 生命の歩みと未来	1前	2							3
		生命の歩みと未来	1前	2							3
		グローバル化と多様性	1前	2							3
		クオリティ・オブ・ライフの探究	1前	2							2
		未来展望ゼミ	1前	2							15
	公民 教養 科目	日本国憲法	1前	2							1
		健康スポーツ理論	1前	2							2
		法学	1前	2							1
		生命倫理学	1前	2							2
		人権の歴史と現代	1前	2							1
		宗教学	1前	2							1
		哲学概論	1前	2							1
		日本経済入門	1前	2							1
		経営学総論	1前	2							1
		生物学	1前	2							1
		化学	1前	2							3
		小計 (6科目)	—	0	32	0	0	0	0	0	36
	英語 科目	英語文法Ⅰ	1前	2							5
		英語文法Ⅱ	1後	1							5
		工学英語Ⅰ	1前	2							7
		工学英語Ⅱ	1後	2							7
		アクティブ・リーディング	1前	2							5
		アクティブ・リスニング	1前	2							5
		英会話Ⅰ	1前	2							7
		英会話Ⅱ	1後	2							7
		英会話Ⅲ	2前	1							5
		英会話Ⅳ	2後	1							5
		アカデミックライティングⅠ	2前	1							5
		アカデミックライティングⅡ	2後	1							5
		プレゼンテーション	2前	1							5
		ディスカッション	2後	1							5
		上級英語Ⅰ	2前	1							2
		上級英語Ⅱ	2後	1							2
大学 共通科目	日本語 科目	留)日本語文字 語彙 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語聴解 会話 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語聴解 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語作文 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語文法 基礎Ⅰ	1後	1							1
		留)日本語文字 語彙 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語聴解 会話 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語聴解 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語作文 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語文法 基礎Ⅱ	1後	1							1
		留)日本語文字 語彙 応	2前	1							1
		留)日本語聴解 会話 応	2前	1							1
		留)日本語聴解 応用	2前	1							1
		留)日本語聴解 応用Ⅱ	2前	1							1
		留)日本語作文 応用	2前	1							1
		留)日本語総合Ⅰ	2後	1							1
		留)ビジネス日本語	2後	1							1
		留)新聞読解演習	2後	1							1
		留)日本語総合Ⅱ	2後	1							1
		留)ビジネス日本語Ⅱ	2後	1							1
		留)論文読解演習	2後	1							1
大学 共通科目	第2 外国語	ベーシック中国語Ⅰ	2前	1							1
		ベーシック中国語Ⅱ	2後	1							1
		ベーシック韓国語Ⅰ	2前	1							1
		ベーシック韓国語Ⅱ	2後	1							1
		ベーシックドイツ語Ⅰ	2前	1							2
		ベーシックドイツ語Ⅱ	2後	1							1
		ベーシックフランス語Ⅰ	2前	1							1
		ベーシックフランス語Ⅱ	2後	1							1
		小計 (45科目)	—	20	32	0	0	0	0	0	23

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
大学共通科目	スタートアップ 科目	スタートアップゼミA	1前	2			10	4	5				
		スタートアップゼミB	1後	2			10	4	5				
		小計 (2科目)	—	4	0	0	10	4	5	0	0	0	
	キャリア 教育 科目	キャリアデザイン	2後		2								1
		海外研修	1後		1								1
		インターンシップ	1後		1								1
		サービス・ラーニング	1後		1								1
		小計 (4科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3
	スポー ツ 科目	スポーツ・ライフスキル	1前	1									3
		スポーツ・ライフスキル	1後	1									3
		スポーツ・ライフスキル Ⅲ	2前	1									3
		スポーツ・ライフスキル Ⅳ	2後	1									3
		小計 (4科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3

【令和3年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
大学共通科目	スタートアップ 科目	スタートアップゼミA	1前	2			10	4	5				
		スタートアップゼミB	1後	2			10	4	5				
		小計 (2科目)	—	4	0	0	10	4	5	0	0	0	
	キャリア 教育 科目	キャリアデザイン	2後		2								1
		海外研修	1後		1								1
		インターンシップ	1後		1								1
		サービス・ラーニング	1後		1								1
		小計 (4科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3
	スポー ツ 科目	スポーツ・ライフスキル	1前	1									5
		スポーツ・ライフスキル	1後	1									5
		スポーツ・ライフスキル Ⅲ	2前	1									5
		スポーツ・ライフスキル Ⅳ	2後	1									5
		小計 (4科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	0	7

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
				必修 修	選択 択	自由 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
学部専門科目	専門共通科目	基礎専門共通 機械電気システム工学概論	1前4後	2			1						1	
		知的財産		2										
		物理工 学 科 目	物理学Ⅰ	1後	4			1	2					
			物理学Ⅰ 演習	1後	2			1	2				4	
			物理学Ⅱ 演習	2前	6			2	2					
			物理学Ⅱ 演習	2前	2			2	2				4	
		工業数 学 科 目	微分積分と線形代数Ⅰ	1後	4			1	1					
			微分積分と線形代数Ⅰ 演習	1後	2			1	1					4
			微分積分と線形代数Ⅱ	2前	4			1	1					
			微分積分と線形代数Ⅱ 演習	2前	2			1	1					4
			常微分方程式	2後	2			1			1			
			常微分方程式演習	2後	1			1			1			4
	ベクトル解析		3前	2			1			1				
	ベクトル解析演習		3前	1			1			1			4	
	フーリエ解析と偏微分方程式		3後	2			1			1				
	フーリエ解析と偏微分方程式演習		3後	1			1			1			2	
	複素解析と確率 統計	4前	2			1			1					
	複素解析と確率 統計演習	4前	1			1			1			2		
	情報処 理 科 目	数値解析プログラミング	1前	2			2		1			3		
		情報リテラシー	1後	2			2		1			3		
		Pythonプログラミング	2前	2			1	1	1					
		Pythonプログラミング演習	2前	1			1	1	1			6		
		C言語プログラミング	2後	2			2		1					
		C言語プログラミング演習	2後	1			2		1				4	
		C言語システムプログラミング	3前	2			1		1					
		C言語システムプログラミング演習	3前	1			1		1				4	
		デジタル信号処理	3後	2			1		1					
		デジタル信号処理演習	3後	1			1		1				2	
	小計（28科目）		—	35	23	0	6	3	3	0	10	1		
学部専門科目	専門科目	機械設計製図	3前	2			2							
		機械設計製図演習	3前	1			2							
		設計生産工学	3後	2								4	1	
		ロボ ッ ト ス タ イ ク	機構学 移動ロボット入門	3前	2					1				
			ロボットマニピュレータ入門	3後	2			1						
		計 測	計測工学	3後	2			1		1				
			センサ工学	4前	2			1		1				
		制 御	古典制御工学	3前	2			1		1				
			現代制御工学	3後	2			1		1				
			ディジタル制御工学	4前	2			1						
		力 学	工業力学	2前	2			1		1				
			工業力学演習	2前	1			1		1			4	
	材 料	材料力学	2前	2			1	1						
		材料力学演習	2前	1			1	1				4		
	イ オ ニ ク ス	物理化学	3前	2				2						
		物理化学演習	3前	1				2				2		
		電気化学	3後	2				2						
		電池工学	4前	2				2						
	電 磁 気	電磁気学	2後	2			2							
		電磁気学演習	2後	1			2					2		
	ア ク チ ュ エ ー タ シ ス テ ム	モータ工学基礎	2後	2			1		1					
		モータ制御	3前	2			1		1					
		アクチュエータシステム	4前	2					1					
		送配電工学	4前	2			1	1						
	エ ネ ル	発電電工学	4後	2			1	1						
		デ ス バ イ	半導体工学	3前	2			2						
	パワーエレクトロニクス工学		3後	2			1		1					
	回 路	電気回路	3前	2			2							
		アナログ電子回路	3後	2			2							
論理回路		4前	2			1		1						
通 信	通信工学	4前	2			1	1	1						
	情報通信ネットワーク	4後	2				1	1						
実験・実習	実験・実習	デザイン基礎	1前	2			4	3	2			6		
		機械製作実習	2後	3			2				2	7		
		※1 H20実習（ロボット基礎）	3前	3			2				2	6		
		※2 H20実習（エネルギー）	3後	3			1	1	1		1	6		
		※3 H20実習（ロボット発展）	4前	3			1		1		1	6		

【令和3年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学部専門科目	専門 共通科目	基礎 科目 共通	機械電気システム工学概論 知的財産	1前 4後	2 2		1						1
		物 理 工 学 科 目	物理学Ⅰ 物理学Ⅰ 演習 物理学Ⅱ 演習 物理学Ⅱ 演習	1後 1後 2前 2前	4 2 6 2		1 1 2 2	2 2 2 2			4 4		
		工 業 数 学 科 目	微分積分と線形代数Ⅰ 微分積分と線形代数Ⅰ 演習 微分積分と線形代数Ⅱ 微分積分と線形代数Ⅱ 演習 常微分方程式 常微分方程式 演習 ベクトル解析 ベクトル解析 演習 フーリエ解析と偏微分方程式 フーリエ解析と偏微分方程式 演習 複素解析と確率 統計 複素解析と確率 統計 演習	1後 1後 2前 2前 2後 2後 3前 3前 3後 3後 4前 4前	4 2 4 2 2 2 2 1 2 1 2 1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			4 4 4 4 4 4		
			情 報 処 理 科 目	数値解析 プログラミング 情報リテラシー Pythonプログラミング Pythonプログラミング 演習 C言語 プログラミング C言語 プログラミング 演習 C言語 システムプログラミング C言語 システムプログラミング 演習 デジタル信号処理 デジタル信号処理 演習 小計（28科目）	1前 1後 2前 2前 2後 2後 3前 3前 3後 3後 －	2 2 2 1 2 2 2 1 2 1 35		2 2 1 1 2 2 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		3 3 6 4 4 2	1
				設 計 生 産 ロ ボ ッ ト ス タ イ ク 計 測 制 御 力 学 材 料 イ オ ニ ク ス 電 磁 気 ア ク チ ュ エ ー タ シ ス テ ム エ ネ ル ギ ー デ ス バ イ 回 路 通 信	機械設計製図 機械設計製図 図演習 設計生産工学 機構学 移動ロボット入門 ロボットマニピュレータ入門 計測工学 センサ工学 古典制御工学 現代制御工学 デジタル制御工学 工業力学 工業力学 演習 材料力学 材料力学 演習 物理化学 物理化学 演習 電気化学 電池工学 電磁気学 電磁気学 演習 モータ工学基礎 モータ制御 アクチュエータシステム 送配電工学 発電電工学 半導体工学 パワーエレクトロニクス工学 電気回路 アナログ電子回路 論理回路 通信工学 情報通信ネットワーク	3前 3前 3後 3前 3後 3後 2前 2前 2前 3前 3前 3後 4前 2後 2後 2後 3前 3前 4前 4前 3前 3後 3前 3後 4前 4後	2 1 2 2 2 2 2 1 2						

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						兼任 ・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部 専門科目	総合 演習	プレキャブストーンプロジェクトⅠ	3前	2			10	4	4				
		プレキャブストーンプロジェクトⅡ	3後	4			10	4	4				
		キャブストーンプロジェクトⅠ	4前		2		10	4	4				
		キャブストーンプロジェクトⅡ	4後		4		10	4	4				
		研究室プロジェクトⅠ	4前		4		10	4	5				
		研究室プロジェクトⅡ	4後		4		10	4	5				
	小計（43科目）			—	17	76	0	10	4	5	0	10	1
合計（42科目）			—	80	168	0	10	4	5	0	10	1	
卒業要件及び履修方法													
【卒業要件】 大学共通科目 未来展望科目（公民教養科目より4単位以上、語学科目より必修10単位を含んで18単位 外国人留学生は、日本語科目より18単位）以上、スタートアップ科目必修4単位、スポーツ 科目必修4単位の計30単位以上を修得すること。 学部専門科目 専門共通科目（基礎）43単位より必修35単位を含む36単位以上、専門科目（基礎）12単位 より必修3単位を含む9単位以上、専門科目（応用・発展）47単位より24単位以上、実験・実 習科目14単位より必修8単位を含む10単位以上、総合演習20単位より必修6単位を含む10 単位以上、その他学部専門科目全体より9単位以上を修得すること。但し、総合演習の 「キャブストーンプロジェクトⅠ・Ⅱ」又は、研究室プロジェクトⅠ・Ⅱは、選択必修科目と する。 大学共通科目30単位以上と学部専門科目98単位以上を合わせて計128単位以上を修得 すること。													
【履修方法】 秋学期入学の外国人留学生の学部専門科目の受講は、原則として日本人学生との合同 授業にて行う。したがって、履修年次が異なる場合がある。 履修科目の登録の上限は、原則として48単位（年）とする。													

【令和3年度】

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部専門科目	総合 演習	プレキャブストーンプロジェクトⅠ	3前	2			10	4	4				
		プレキャブストーンプロジェクトⅡ	3後	4			10	4	4				
		キャブストーンプロジェクトⅠ	4前		2		10	4	4				
		キャブストーンプロジェクトⅡ	4後		4		10	4	4				
		研究室プロジェクトⅠ	4前		4		10	4	5				
		研究室プロジェクトⅡ	4後		4		10	4	5				
	小計（43科目）			—	17	76	0	10	4	5	0	10	1
合計（42科目）			—	80	168	0	10	4	5	0	10	1	
卒業要件及び履修方法													
【卒業要件】 大学共通科目 未来展望科目・公民教養科目より4単位以上、語学科目より必修10単位を含んで18単位、外国人留学生は、日本語科目より18単位以上、スタートアップ科目必修4単位、スポーツ科目必修4単位の計30単位以上を修得すること。 学部専門科目 専門共通科目（基礎）43単位より必修35単位を含む36単位以上、専門科目（基礎）12単位より必修3単位を含む9単位以上、専門科目（応用・発展）47単位より24単位以上、実験・実習科目14単位より必修8単位を含む10単位以上、総合演習20単位より必修6単位を含む10単位以上、その他学部専門科目全体より9単位以上を修得すること。但し、総合演習の「キャブストーンプロジェクトⅠ・Ⅱ」又は、研究室プロジェクトⅠ・Ⅱは、選択必修科目とする。 大学共通科目30単位以上と学部専門科目98単位以上を合わせて計128単位以上を修得すること。													
【履修方法】 秋学期入学の外国人留学生の学部専門科目の受講は、原則として日本人学生との合同授業にて行う。したがって、履修年次が異なる場合がある。 履修科目の登録の上限は、原則として48単位（年）とする。													

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学共通科目	未来展望科目	コミュニティの再生	1前		2							3
		生命の歩みと未来	1前		2							3
		グローバル化と多様性	1前		2							3
		クオリティオブ・ライフの探究	1前		2							3
		未来展望ゼミ	1前		2							14
	公民教養科目	日本国憲法	1前		2							1
		健康スポーツ理論	1前		2							3
		法学	1前		2							2
		生命倫理学	1前		2							2
		人権の歴史と現代	1前		2							1
宗教学		1前		2							1	
哲学概論		1前		2							1	
日本経済入門		1前		2							2	
大学共通科目	英語科目	経営学総論	1前		2							1
		生物学	1前		2							1
		化学	1前		2							3
		小計（6科目）	—	0	32	0	0	0	0	0	0	37
		英語文法Ⅰ	1前	2								8
		英語文法Ⅱ	1後	1								6
		工学英語Ⅰ	1前	2								8
		工学英語Ⅱ	1後	2								7
		アクティブ・ラーニング	1前	2								8
		アクティブ・リスニング	1前	2								8
大学共通科目	日本語科目	英会話Ⅰ	1前		2							9
		英会話Ⅱ	1後	1								8
		英会話Ⅲ	2前	2								6
		英会話Ⅳ	2後	1								6
		アカデミックライティングⅠ	2前	2								6
		アカデミックライティングⅡ	2後	1								6
		プレゼンテーション	2前	1								6
		ディスカッション	2後	1								6
		上級英語Ⅰ	2前	1								3
		上級英語Ⅱ	2後	1								3
大学共通科目	日本語科目	留Ⅰ日本語文字・読解 基礎Ⅰ	1後	1								1
		留Ⅰ日本語聴解 会話 基礎Ⅰ	1後	1								1
		留Ⅰ日本語読解 基礎Ⅰ	1後	1								1
		留Ⅰ日本語作文 基礎Ⅰ	1後	1								1
		留Ⅰ日本語文法 基礎Ⅰ	1後	1								1
		留Ⅰ日本語文字・読解 基礎Ⅱ	1後	1								1
		留Ⅰ日本語聴解 会話 基礎Ⅱ	1後	1								1
		留Ⅰ日本語読解 基礎Ⅱ	1後	1								1
		留Ⅰ日本語作文 基礎Ⅱ	1後	1								1
		留Ⅰ日本語文法 基礎Ⅱ	1後	1								1
大学共通科目	語学科目	留Ⅱ日本語文字・読解 応用Ⅰ	2前	1								1
		留Ⅱ日本語聴解 会話 応用Ⅰ	2前	1								1
		留Ⅱ日本語読解 応用Ⅰ	2前	1								1
		留Ⅱ日本語聴解 応用Ⅱ	2前	1								1
		留Ⅱ日本語作文 応用Ⅱ	2前	1								1
		留Ⅱ日本語総合Ⅰ	2後	1								1
		留Ⅱビジネス日本語Ⅰ	2後	1								

【令和2年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部専門科目	専門共通科目	機械電気システム工学概論	1前	2			1					
		知的財産	4後		2							1
		物理学 I	1後	4			1	2				
		物理学 I 演習	1後	2			1	2			4	
		物理学 II 演習	2前	6			2	2				
		物理学 II 演習	2前	2			2	2			4	
		微分積分と線形代数 I	1後	4			1	1				
		微分積分と線形代数 I 演習	1後	2			1	1			4	
		微分積分と線形代数 II	2前	4			1	1				
		微分積分と線形代数 II 演習	2前	2			1	1			4	
	情報処理科目	工業数学 I	2後		2		1		1			
		常微分方程式	2後		1		1		1		4	
		常微分方程式演習	2後		2		1		1			
		ベクトル解析	3前		1		1		1		4	
		ベクトル解析演習	3前		1		1		1			
		フーリエ解析と偏微分方程式	3後		2		1		1			
		フーリエ解析と偏微分方程式演習	3後		1		1		1		2	
		複素解析と確率・統計	4前		2		1		1			
		複素解析と確率・統計演習	4前		1		1		1		2	
		数値解析プログラミング	1前	2			2		1		3	
学部専門科目	情報処理科目	情報リテラシー	1後	2			2		1		3	
		Pythonプログラミング	2前	2			1	1	1			
		Pythonプログラミング演習	2前	1			1	1	1		6	
		C言語プログラミング	2後		2		2		1			
		C言語プログラミング演習	2後		1		2		1		4	
		C言語システムプログラミング	3前		2		1		1			
		C言語システムプログラミング演習	3前		1		1		1		4	
		ディジタル信号処理	3後		2		1		1			
		ディジタル信号処理演習	3後		1		1		1		2	
		小計 (28科目)	—	35	23	0	6	3	3	0	10	1
	専門科目	機械設計製図	3前		2		2					
		機械設計製図演習	3前		1		2				4	1
		設計生産工学	3後		2							
		機構学 移動ロボット入門	3前		2				1			
		ロボットマニピュレータ入門	3後		2		1					
		計測工学	3後		2		1		1			
		センサ工学	4前		2		1		1			
		古典制御工学	3前		2		1		1			
		現代制御工学	3後		2		1		1			
		ディジタル制御工学	4前		2		1					
	実験・実習	工業力学	2前	2			1		1			
		工業力学演習	2前	1			1		1		4	
		材料力学	2前		2		1	1				
		材料力学演習	2前		1		1	1			4	
		物理化学	3前		2			2				
		物理化学演習	3前		1			2			2	
		電気化学	3後		2			2				
		電池工学	4前		2			2				
		電磁気学	2後		2		2					
		電磁気学演習	2後		1		2				2	
	実験・実習	モータ工学基礎	2後		2		1		1			
		モータ制御	3前		2		1		1			
		アクチュエータシステム	4前		2				1			
		送配電工学	4前		2			1	1			
		発電電工学	4後		2		1	1				
		半導体工学	3前		2		2					
		パワーエレクトロニクス工学	3後		2		1		1			
		電気回路	3前		2		2					
		アナログ電子回路	3後		2		2					
		論理回路	4前		2		1		1			
	実験・実習	通信工学	4前		2		1	1	1			
		情報通信ネットワーク	4後		2		1	1	1			
		デザイン基礎	1前	2			4	3	2		3	
		機械製作実習	2後	3			2				7	1
		ロボット実習 (ロボット基礎)	3前	3			2		2		6	
		ロボット実習 (エネルギー)	3後		3		1	1	1		6	
		ロボット実習 (ロボット発展)	4前		3		1	1	1		6	

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学部 専門 科目	総合 演 習	プレキャップストーンプロジェクトI	3前	2		10	4	4			
		プレキャップストーンプロジェクトII	3後	4		10	4	4			
		キャップストーンプロジェクトI	4前		2		10	4	4		
		キャップストーンプロジェクトII	4後		4		10	4	4		
		研究室プロジェクトI	4前		4		10	4	5		
		研究室プロジェクトII	4後		4		10	4	5		
	小計（43科目）	—	17	76	0	10	4	5	0	10	1
合計（142科目）		—	80	168	0	10	4	5	0	10	1
卒業要件及び履修方法											
卒業要件] 大学共通科目 未来展望科目・公民教養科目より4単位以上、語学科目より必修10単位を含んで18単位 外国人留学生は、日本語科目より18単位以上、スタートアップ科目必修4単位、スポーツ科目必修4単位の計30単位以上を修得すること。 学部専門科目 専門共通科目（基礎）43単位より必修35単位を含む36単位以上、専門科目（基礎）12単位より必修3単位を含む9単位以上、専門科目（応用・発展）47単位より24単位以上、実験・実習科目14単位より必修8単位を含む10単位以上、総合演習20単位より必修6単位を含む10単位以上、その他学部専門科目全体より9単位以上を修得すること。但し、総合演習の「キャップストーンプロジェクトI・II」又は、「研究室プロジェクトI・II」は、選択必修科目とする。 大学共通科目30単位以上と学部専門科目98単位以上を合わせて計128単位以上を修得すること。											
履修方法] 秋学期入学の外国人留学生の学部専門科目の受講は、原則として日本人学生との合同授業にて行う。したがって、履修年次が異なる場合がある。 履修科目の登録の上限は、原則として48単位（年）とする。											

- 黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

教育課程の充実をはかるため、「コミュニティの再生」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「生命の歩みと未来」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「グローバルゼミと多様性」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「クオリティ・オブ・ライフの探究」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「未来展望ゼミ」の兼任教員を追加し「4」から「14」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「健康スポーツ理論」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「生命倫理学」の兼任教員を追加し「1」から「2」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「日本経済入門」の兼任教員を追加し「1」から「2」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「化学」の兼任教員を追加し「2」から「3」に変更。
兼任教員1名が退職し、教育課程の充実をはかるため、「英語文法Ⅰ」の兼任教員を追加し「7」から「8」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「英語文法Ⅱ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職し、教育課程の充実をはかるため、「工学英語Ⅰ」の兼任教員を追加し「7」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「アクティブ・リーディング」の兼任教員を追加し「7」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「アクティブ・リスニング」の兼任教員を追加し「7」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を追加し「7」から「9」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「英会話Ⅱ」の兼任教員数を「7」から「8」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「英会話Ⅲ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「英会話Ⅳ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「アカデミックライティングⅠ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「アカデミックライティングⅡ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「プレゼンテーション」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「ディスカッション」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「スポーツ・ライフスキルⅠ」の兼任教員を追加し「3」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「スポーツ・ライフスキルⅡ」の兼任教員を追加し「3」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「スポーツ・ライフスキルⅢ」の兼任教員を追加し「3」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「スポーツ・ライフスキルⅣ」の兼任教員を追加し「3」から「8」に変更。
助手の配置の適正化をはかるため、「デザイン基礎」の助手を「6」から「3」に変更。

【令和3年度】

教育課程の充実をはかるため、「未来展望ゼミ」の兼任教員を追加し「14」から「15」に変更。
「クオリティ・オブ・ライフの探究」の兼任教員を「3」から「2」に変更。
担当科目見直しのため、「健康スポーツ理論」の兼任教員数を「3」から「2」に変更。
担当科目見直しのため、「日本経済入門」の兼任教員数を「2」から「1」に変更。
担当科目見直しのため、「英語文法Ⅰ」の兼任教員数を「8」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「英語文法Ⅱ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「工学英語Ⅰ」の兼任教員数を「8」から「7」に変更。
担当科目見直しのため、「アクティブ・リーディング」の兼任教員数を「8」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「アクティブ・リスニング」の兼任教員数を「8」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「英会話Ⅰ」の兼任教員数を「9」から「7」に変更。
担当科目見直しのため、「英会話Ⅱ」の兼任教員数を「8」から「7」に変更。
担当科目見直しのため、「英会話Ⅲ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「英会話Ⅳ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「アカデミックライティングⅠ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「アカデミックライティングⅡ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「プレゼンテーション」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「ディスカッション」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「上級英語Ⅰ」「上級英語Ⅱ」の兼任教員数を「3」から「2」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「ベーシックドイツ語Ⅰ」の兼任教員を追加し「1」から「2」に変更。
担当科目見直しのため、「スポーツ・ライフスキルⅠ」「スポーツ・ライフスキルⅡ」「スポーツ・ライフスキルⅢ」「スポーツ・ライフスキルⅣ」の兼任教員数を「8」から「5」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況						備考
必修	選択	自由	計(A)	必修			選択	自由	計	
43 科目	99 科目	0 科目	142 科目	43 科目			99 科目	0 科目	142 科目	
				[0]			0	[]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{142} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	109,617.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	109,617.09㎡	借地面積<太秦>			
	運動場用地	82,766.89㎡	0 ㎡	0 ㎡	82,766.89㎡	32,571.91㎡			
	小 計	192,383.98㎡	0 ㎡	0 ㎡	192,383.98㎡	借用期間:60年			
	そ の 他	76,103.94㎡ 75,370.94㎡	0 ㎡	0 ㎡	76,103.94㎡ 75,370.94㎡	その他借地733㎡を追加(3)			
	合 計	268,487.92㎡ 267,754.92㎡	0 ㎡	0 ㎡	268,487.92㎡ 267,754.92㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		106182.21㎡ 106,836.16㎡ (106182.21㎡ 106,836.16㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	106182.21㎡ 106,836.16㎡ (106182.21㎡ 106,836.16㎡)	駐輪場をに二重に計上 していたため修正(3)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		119室 95室	39室 37室	94室 73室	10室 14室 (補助職員 5人 4人)	0室 (補助職員 0人)	教室の用途を見直し転 用したため修正(3)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		工学部 機械電機システム工学科			25 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	工学部	13,681 [2,095] (7,002 [1,400]) (5,374 [925])	3 [0] (3 [0])	3 [2] (3 [2])	100 (36)	12,264 (12,233)	- (-)	年次の整備(3)	
	計	13,681 [2,095] (7,002 [1,400]) (5,374 [925])	3 [0] (3 [0])	3 [2] (3 [2])	100 (36)	12,264 (12,233)	- (-)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		開設時増設(2)		
		5185.89㎡	975席 970席		483,840冊				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		5046.41㎡	野球場1面、テニスコート6面、弓道場1施設、アーチェリー場1施設						
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・業者からの価格再提示 による金額変更 (2) ・業者からの価格再提示 による金額変更 (3)
		教員1人当たり研究費等	2000千円	2000千円	図書購入費	36,989千円	19,343千円	9,065千円	
		共 同 研 究 費 等	10000千円	10000千円	設備購入費	1,341,989千 円 1,374,808千 円	137,297千円 146,769千円 133,133千円	5,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,600千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	京 都 先 端 科 学 大 学						学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
工学部	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
機械電機システム工学科	4	200	-	400	学士 (工学)	0.55	0.49		令和2年度	京都府京都市右 京区山ノ内五反 田町18番地	
経済経営学部						1.00	0.89				
経済学科	4	185	-	695	学士 (経済学)	1.00	0.89		令和3年度	京都府京都市右 京区山ノ内五反 田町18番地	経済学科、経営学科 入学定員 平27～29 150 平30～令2 170
経営学科	4	185	-	695	学士 (経営学)	1.01	0.89		令和3年度		
人文学部						1.02	0.85				
心理学科	4	80	-	320	学士 (人文)	1.05	1.00		平成27年度	京都府京都市右 京区山ノ内五反 田町18番地	
歴史文化学科	4	90	-	360	学士 (人文)	1.00	0.72		平成27年度		
バイオ環境学部						0.76	0.59				
バイオサイエンス学科	4	65	-	260	学士 (バイオ環境)	0.80	0.53		平成18年度		バイオサイエンス学科入学定員 平27～29 90 平30～ 65
バイオ環境デザイン学科	4	55	-	220	学士 (バイオ環境)	0.83	0.56		平成18年度	京都府亀岡市曾 我部町南条大谷 1番地 1	バイオ環境デザイン学科入学定員 平27～29 60 平30～ 55
食農学科	4	40	-	250	学士 (バイオ環境)	0.67	0.72		令和3年度		食農学科入学定員 平27～29 80 平30～令2 70
健康医療学部						0.97	0.86				
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	0.98	0.98		平成27年度	京都府京都市右 京区山ノ内五反 田町18番地	
言語聴覚学科	4	30	-	120	学士 (言語聴覚 学)	0.87	0.76		平成27年度		
健康スポーツ学科	4	90	-	360	学士 (健康スポー ツ学)	0.99	0.78		平成27年度	京都府亀岡市曾 我部町南条大谷 1番地 1	
経営学部											
経営学科	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-		平成3年度	京都府亀岡市曾 我部町南条大谷 1番地 1	平成27年度より 学生募集停止
法学部											
法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	-		平成元年度	京都府亀岡市曾 我部町南条大谷 1番地 1	平成27年度より 学生募集停止
人間文化学部											
歴史民俗・日本語 日本文化学科	4	-	-	-	学士 (人間文化)	-	-		平成20年度		平成27年度より 学生募集停止
歴史民俗学専攻	4	-	-	-	学士 (人間文化)	-	-		平成20年度		平成27年度より 学生募集停止
日本語日本文化専攻	4	-	-	-	学士 (人間文化)	-	-		平成21年度		平成27年度より 学生募集停止

大学 の 名 称	京 都 先 端 科 学 大 学 大 学 院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所 在 地	
工学研究科	年	人	年次人	人		倍	倍				
機械電気システム工学専攻	2	15	—	30	修士（工学）	0.33	0.06		令和2年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
機械電気システム工学専攻	3	2	—	4	博士（工学）	0.50	0.00		令和2年度		
経済学研究科											
経済学専攻	2	5	—	10	修士（経済学）	1.60	1.80		平成7年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
経営学研究科											
経営学専攻	2	5	—	10	修士（経営学）	0.30	0.20		平成7年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
人間文化研究科					修士（文化研究）						
人間文化専攻	2	10	—	20	修士（社会情報） 修士（心理学）	0.40	0.20		平成14年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
バイオ環境研究科											
博士課程前期バイオ環境専攻	2	20	—	40	修士（バイオ環境）	0.10	0.05		平成22年度	京都府岡崎市曾我部町南条大谷1番地1	
博士課程後期バイオ環境専攻	3	3	—	9	博士（バイオ環境）	0.00	0.00		平成22年度	京都府岡崎市曾我部町南条大谷1番地1	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 機械電気システム工学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(希望) 年月> (年 齢) 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(希望) 年月> (年 齢) 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名	
専 任	教授	田徳 修 (53) <令和2年4月> 博士(工学)	専 任	教授	田徳 修 (54) <令和2年4月> 博士(工学)
		スタートアップゼミA スタートアップゼミB 機械電気システム工学概論 センサ工学 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII			スタートアップゼミA スタートアップゼミB 機械電気システム工学概論 センサ工学 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII
専 任	教授	川上 浩司 (55) <令和2年4月> 博士(工学)	専 任	教授	川上 浩司 (56) <令和2年4月> 博士(工学)
		スタートアップゼミA スタートアップゼミB 機械設計製図 機械設計製図演習 機械製作実習 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII			スタートアップゼミA スタートアップゼミB 機械設計製図 機械設計製図演習 機械製作実習 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII
専 任	教授	Ian Keith PUMARTA (53) <令和2年4月> Ph. D. in Computer Science (特 許)	専 任	教授	Ian Keith PUMARTA (54) <令和2年4月> Ph. D. in Computer Science (特 許)
		スタートアップゼミA スタートアップゼミB 数値解析プログラミング 情報リテラシー Pythonプログラミング演習 C言語プログラミング演習 C言語システムプログラミング演習 通信工学 デザイン基礎 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII			スタートアップゼミA スタートアップゼミB 数値解析プログラミング 情報リテラシー Pythonプログラミング演習 C言語プログラミング演習 C言語システムプログラミング演習 通信工学 デザイン基礎 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII
専 任	教授	今井 敦之 (52) <令和2年4月> 博士(工学)	専 任	教授	今井 敦之 (53) <令和2年4月> 博士(工学)
		スタートアップゼミA スタートアップゼミB 物理工学II 物理工学III演習 電気化学演習 電気力学演習 半導体工学 電気回路 アナログ電子回路 制御回路 デザイン基礎 メカトロ演習(ロボット・基礎) フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII			スタートアップゼミA スタートアップゼミB 物理工学II 物理工学III演習 電気化学演習 電気力学演習 半導体工学 電気回路 アナログ電子回路 制御回路 デザイン基礎 メカトロ演習(ロボット・基礎) フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII
専 任	教授	沖 一雄 (51) <令和2年4月> 博士 (都市・地域計画学)	専 任	教授	沖 一雄 (52) <令和2年4月> 博士 (都市・地域計画学)
		スタートアップゼミA スタートアップゼミB 数値解析プログラミング 情報リテラシー C言語プログラミング演習 C言語システムプログラミング演習 デジタル信号処理演習 計算工学 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII			スタートアップゼミA スタートアップゼミB 数値解析プログラミング 情報リテラシー C言語プログラミング演習 C言語システムプログラミング演習 デジタル信号処理演習 計算工学 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII
専 任	教授	中村 康一 (48) <令和2年4月> 博士(工学)	専 任	教授	中村 康一 (49) <令和2年4月> 博士(工学)
		スタートアップゼミA スタートアップゼミB 微分積分と線形代数I 演習 微分積分と線形代数II 演習 微分積分と線形代数III 演習 常微分方程式 常微分方程式演習 ベクトル解析 ベクトル解析演習 フーリエ解析と偏微分方程式演習 複素解析と微分・積分 複素解析と微分・積分演習 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII			スタートアップゼミA スタートアップゼミB 微分積分と線形代数I 演習 微分積分と線形代数II 演習 微分積分と線形代数III 演習 常微分方程式 常微分方程式演習 ベクトル解析 ベクトル解析演習 フーリエ解析と偏微分方程式演習 複素解析と微分・積分 複素解析と微分・積分演習 フレカッパストーンプロジェクトI フレカッパストーンプロジェクトII キャッパストーンプロジェクトI キャッパストーンプロジェクトII 研究室プロジェクトI 研究室プロジェクトII

[illegible]

[illegible]

専任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
		氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等				氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等				氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	
専 講師		栗 道晴 (31) <令和2年4月> 博士(工学)	スタートアップゼミA スタートアップゼミB 情報リテラシー 仮想システムプログラミング 仮想システムプログラミング演習 デジタル信号処理 デジタル信号処理演習 通信工学 情報通信ネットワーク デザイン基礎 シミュレーションプロジェクトⅠ シミュレーションプロジェクトⅡ キャプストーンプロジェクトⅠ キャプストーンプロジェクトⅡ 研究室プロジェクトⅠ 研究室プロジェクトⅡ	専 講師		栗 道晴 (31) <令和2年4月> 博士(工学)	スタートアップゼミA スタートアップゼミB 情報リテラシー 仮想システムプログラミング 仮想システムプログラミング演習 デジタル信号処理 デジタル信号処理演習 通信工学 情報通信ネットワーク デザイン基礎 シミュレーションプロジェクトⅠ シミュレーションプロジェクトⅡ キャプストーンプロジェクトⅠ キャプストーンプロジェクトⅡ 研究室プロジェクトⅠ 研究室プロジェクトⅡ	専 講師		栗 道晴 (32) <令和2年4月> 博士(工学)	スタートアップゼミA スタートアップゼミB 情報リテラシー 仮想システムプログラミング 仮想システムプログラミング演習 デジタル信号処理 デジタル信号処理演習 通信工学 情報通信ネットワーク デザイン基礎 シミュレーションプロジェクトⅠ シミュレーションプロジェクトⅡ キャプストーンプロジェクトⅠ キャプストーンプロジェクトⅡ 研究室プロジェクトⅠ 研究室プロジェクトⅡ
		約場 宏次 (52) <令和2年4月> 工学修士				約場 宏次 (52) <令和2年4月> 工学修士				約場 宏次 (52) <令和2年4月> 工学修士	
兼任 教授		キャリアデザイン インターンシップ 設計生産工学 機械製作実習		兼任 教授		赤松眞直ゼミ キャリアデザイン インターンシップ 設計生産工学 機械製作実習		兼任 教授		赤松眞直ゼミ キャリアデザイン インターンシップ 設計生産工学 機械製作実習	
		丸田 博之 (61) <令和2年4月> 博士(文学)				丸田 博之 (61) <令和2年4月> 博士(文学)				丸田 博之 (62) <令和2年4月> 博士(文学)	
兼任 教授		(留) 日本文法 基礎Ⅱ (留) 日本語総合Ⅱ (留) ビジネス日本語Ⅱ (留) 論文読解演習		兼任 教授		(留) 日本文法 基礎Ⅱ (留) 日本語総合Ⅱ (留) ビジネス日本語Ⅱ (留) 論文読解演習		兼任 教授		(留) 日本文法 基礎Ⅱ (留) 日本語総合Ⅱ (留) ビジネス日本語Ⅱ (留) 論文読解演習	
		平田 謙輔 (52) <令和2年4月> 修士(経済学)				平田 謙輔 (52) <令和2年4月> 修士(経済学)				平田 謙輔 (53) <令和2年4月> 修士(経済学)	
		コミュニティの再生				コミュニティの再生				コミュニティの再生	
						川田 耕 (51) <令和2年4月> 博士(文学)				川田 耕 (52) <令和2年4月> 博士(文学)	
				兼任 教授		コミュニティの再生		兼任 教授		コミュニティの再生	
						夢野 千広子 (84) <令和2年4月> 修士士				夢野 千広子 (85) <令和2年4月> 修士士	
				兼任 教授		コミュニティの再生		兼任 教授		コミュニティの再生	
						伊賀 一郎 (41) <令和2年4月> 修士(看護学)				伊賀 一郎 (41) <令和2年4月> 修士(看護学)	
				兼任 教授		生命の参みと未来		兼任 教授		生命の参みと未来	
						新井 智子 (47) <令和2年4月> 医学修士				新井 智子 (48) <令和2年4月> 医学修士	
				兼任 教授		生命の参みと未来		兼任 教授		生命の参みと未来	
						山下 隆 (50) <令和2年4月> 文学修士				山下 隆 (50) <令和2年4月> 文学修士	
				兼任 教授		生命の参みと未来		兼任 教授		生命の参みと未来	
兼任 教授		西片 聡哉 (50) <令和2年4月> 博士(法学)	グローバルゼーションと多様性 海外研修	兼任 教授		西片 聡哉 (50) <令和2年4月> 博士(法学)	海外研修	兼任 教授		西片 聡哉 (51) <令和2年4月> 博士(法学)	海外研修
				兼任 准教授		清水 穂子 (55) <令和2年4月> 臨床看護修士	グローバルゼーションと多様性	兼任 准教授		清水 穂子 (56) <令和2年4月> 臨床看護修士	グローバルゼーションと多様性
				兼任 准教授		串 立康 (45) <令和2年4月> 博士(看護)	グローバルゼーションと多様性	兼任 准教授		串 立康 (46) <令和2年4月> 博士(看護)	グローバルゼーションと多様性
				兼任 准教授		土屋 康博 (39) <令和2年4月> 修士(臨床看護)	グローバルゼーションと多様性	兼任 准教授		土屋 康博 (40) <令和2年4月> 修士(臨床看護)	グローバルゼーションと多様性
兼任 教授		植川 芳之 (53) <令和2年4月> 博士(経営管理)	クオリティ・オブ・ライフの研究	兼任 教授		植川 芳之 (53) <令和2年4月> 博士(経営管理)	クオリティ・オブ・ライフの研究	兼任 教授		植川 芳之 (54) <令和2年4月> 博士(経営管理)	クオリティ・オブ・ライフの研究
				兼任 講師		色川 新一 (44) <令和2年4月> 修士(法学)	クオリティ・オブ・ライフの研究	兼任 講師		色川 新一 (47) <令和2年4月> 修士(法学)	クオリティ・オブ・ライフの研究
				兼任 准教授		藤井 龍介 (35) <令和2年4月> 修士(公法学)	クオリティ・オブ・ライフの研究	兼任 准教授			
兼任 教授		木藤 伸一郎 (64) <令和2年4月> 法学修士	日本国憲法	兼任 教授		木藤 伸一郎 (64) <令和2年4月> 法学修士	日本国憲法				
								兼任		赤定(休学中、0月採用予定) <令和3年4月>	日本国憲法

専任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
	宮中 康子 (67) <令和2年4月> 修士(保健看護)			宮中 康子 (67) <令和2年4月> 修士(保健看護)				
兼任 教授	健康スポーツ理論 スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV		兼任 教授	健康スポーツ理論 スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV				
			教員 教員	飯嶋 寛央 (88) <令和2年4月> 医学博士 健康スポーツ理論				
						兼任 教授	伊藤 寛孝 (80) <令和2年4月> 医学博士 健康スポーツ理論	
			教員 講師	寺島 雅志 (84) <令和2年4月> 博士(コーチング学) スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV				
			教員 講師	成嶋 典紀 (84) <令和2年4月> 博士(スポーツ医学) スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV		教員 講師	成嶋 典紀 (84) <令和2年4月> 博士(スポーツ医学) 健康スポーツ理論 スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III	
			教員 講師	菅田 博 (78) <令和2年4月> 博士(コーチング学) スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV		教員 講師	菅田 博 (78) <令和2年4月> 博士(コーチング学) スポーツ・ライフスキル I	
			教員 講師	鈴木 雄太 (84) <令和2年4月> 博士(社会学) スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV		教員 講師	鈴木 雄太 (84) <令和2年4月> 博士(社会学) スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV	
						教員 講師	村川 大輔 (79) <令和2年4月> 博士(体育学) スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III	
						教員 講師	高橋 孝隆 (78) <令和2年4月> 博士(体育科学) スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV	
						教員 講師	新田 物産 (70) <令和2年4月> 博士(体育スポーツ学) スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV	
			教員 講師	飯水 雅也 (84) <令和2年4月> 体育学博士 スポーツ・ライフスキル I スポーツ・ライフスキル II スポーツ・ライフスキル III スポーツ・ライフスキル IV				
兼任 教授	跡田 直達 (65) <令和2年4月> 博士(経済学) 日本経済入門		兼任 教授	跡田 直達 (65) <令和2年4月> 博士(経済学) 日本経済入門				
			教員 講師	小川 麗正 (86) <令和2年4月> 博士(経済学) 日本経済入門				
						教員 教授	西村 麗正 (70) <令和2年4月> 博士(経済学) 日本経済入門	
兼任 教授	藤井 康代 (52) <令和2年4月> 博士(理学) 化学		兼任 教授	藤井 康代 (52) <令和2年4月> 博士(理学) 化学		兼任 教授	藤井 康代 (52) <令和2年4月> 博士(理学) 化学	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼担	教授	吉 野 昭 (60) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	ベーシックドイツ語Ⅰ ベーシックドイツ語Ⅱ	兼担	教授	吉 野 昭 (60) ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	ベーシックドイツ語Ⅰ ベーシックドイツ語Ⅱ				
									兼任	講師	斎藤 嘉太 (40) ＜令和2年4月＞ 修士(人間・看護学)
											ベーシックドイツ語Ⅰ
									兼任	講師	鳥 谷 亨 (40) ＜令和3年4月＞ 看護学修士
											ベーシックドイツ語Ⅱ ベーシックドイツ語Ⅲ
兼担	教授	吉川 節子 (57) ＜令和2年4月＞ 文学修士		兼担	教授	吉川 節子 (57) ＜令和2年4月＞ 文学修士				吉川 節子 (58) ＜令和2年4月＞ 文学修士	
		未来展望ゼミ				未来展望ゼミ				未来展望ゼミ	
兼担	准教授	右近 潤一 (47) ＜令和2年4月＞ 修士(法学)		兼担	准教授	右近 潤一 (47) ＜令和2年4月＞ 修士(法学)				右近 潤一 (48) ＜令和2年4月＞ 修士(法学)	
		Stephen Richmond (42) ＜令和2年4月＞ MA in Applied Japanese Linguistics(英蘭)				Stephen Richmond (42) ＜令和2年4月＞ MA in Applied Japanese Linguistics(英蘭)				Stephen Richmond (43) ＜令和2年4月＞ MA in Applied Japanese Linguistics(英蘭)	
兼担	准教授	英語文法Ⅰ 英語文法Ⅱ 工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ アクティブ・リーディング アクティブ・リスニング 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ 英会話Ⅳ アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ プレゼンテーション ディスカッション 上級英語Ⅰ 上級英語Ⅱ		兼担	准教授	英語文法Ⅰ 英語文法Ⅱ 工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ アクティブ・リーディング アクティブ・リスニング 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ 英会話Ⅳ アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ プレゼンテーション ディスカッション 上級英語Ⅰ 上級英語Ⅱ		兼担	准教授	英語文法Ⅰ 英語文法Ⅱ 工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ アクティブ・リーディング アクティブ・リスニング 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ 英会話Ⅳ アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ プレゼンテーション ディスカッション 上級英語Ⅰ 上級英語Ⅱ	
		関口 久雄 (54) ＜令和2年4月＞ 修士(社会学)				関口 久雄 (54) ＜令和2年4月＞ 修士(社会学)			兼担	准教授	関口 久雄 (55) ＜令和2年4月＞ 修士(社会学)
		未来展望ゼミ				未来展望ゼミ					未来展望ゼミ
兼担	准教授	高ノ原 恭子 (54) ＜令和2年4月＞ 教育学修士		兼担	准教授	高ノ原 恭子 (54) ＜令和2年4月＞ 教育学修士					
		未来展望ゼミ				未来展望ゼミ					
兼担	准教授	江 尚華 (44) ＜令和2年4月＞ 修士(経済学)		兼担	准教授	江 尚華 (44) ＜令和2年4月＞ 修士(経済学)			兼担	准教授	江 尚華 (45) ＜令和2年4月＞ 修士(経済学)
		経営学総論				経営学総論					経営学総論
兼担	准教授	高澤 伸江 (42) ＜令和2年4月＞ 博士(理学)		兼担	准教授	高澤 伸江 (42) ＜令和2年4月＞ 博士(理学)			兼担	准教授	高澤 伸江 (43) ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		化学				化学					化学
兼担	講師	外山 聡 (39) ＜令和2年4月＞ 修士(医科学)									
		生命倫理学									
				兼任	教授	斎藤 健行 (78) ＜令和2年4月＞ 医学博士					
				兼任	教授	榎本 智子 (47) ＜令和2年4月＞ 医学博士					
						生命倫理学					生命倫理学
									兼任	特任 教授	伊藤 寛康 (84) ＜令和2年4月＞
											生命倫理学
		三浦 重則 (59) ＜令和2年4月＞ 体育学士		兼担	講師	三浦 重則 (60) ＜令和2年4月＞ 体育学士					
兼担	講師	スポーツ・ライフスキルⅠ スポーツ・ライフスキルⅡ スポーツ・ライフスキルⅢ スポーツ・ライフスキルⅣ		兼担	講師	スポーツ・ライフスキルⅠ スポーツ・ライフスキルⅡ スポーツ・ライフスキルⅢ スポーツ・ライフスキルⅣ					スポーツ・ライフスキルⅢ スポーツ・ライフスキルⅣ
兼担	講師	西 俊治 (42) ＜令和2年4月＞ 学士(体育学)		兼担	講師	西 俊治 (42) ＜令和2年4月＞ 学士(体育学)					
		スポーツ・ライフスキルⅠ スポーツ・ライフスキルⅡ スポーツ・ライフスキルⅢ スポーツ・ライフスキルⅣ				スポーツ・ライフスキルⅠ スポーツ・ライフスキルⅡ スポーツ・ライフスキルⅢ スポーツ・ライフスキルⅣ					
		金子賢治 (48) ＜令和2年4月＞ 博士(アジア太平洋学)		兼担	講師	金子賢治 (48) ＜令和2年4月＞ 博士(アジア太平洋学)					
兼担	講師	英語文法Ⅰ 英語文法Ⅱ 工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ アクティブ・リーディング アクティブ・リスニング 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ 英会話Ⅳ アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ プレゼンテーション ディスカッション		兼担	講師	英語文法Ⅰ 英語文法Ⅱ 工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ アクティブ・リーディング アクティブ・リスニング 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ 英会話Ⅳ アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ プレゼンテーション ディスカッション					
		宮橋 一樹 (41) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)		兼担	講師	宮橋 一樹 (42) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)			兼担	講師	工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ 英会話Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	廣川 淳之 (53) <令和2年4月> 博士(法学) 法務博士(専門職)	知的財産
兼任	講師	一言 真佐子 (47) <令和2年4月> 修士(法学)	人権の歴史と現代
兼任	講師	橋本 章彦 (54) <令和2年4月> 博士(文学)	宗教学
兼任	講師	樋口 喜朗 (57) <令和2年4月> 修士(文学)	哲学概論
兼任	講師	松井 朋子 (45) <令和2年4月> 教育学修士(社会)	サービス・ラーニング
兼任	講師	新 典 (62) <令和2年4月> 博士(文学)	ベーシック中国語Ⅰ ベーシック中国語Ⅱ
兼任	講師	方 登雄 (55) <令和2年4月> 修士(文学)	ベーシック韓国語Ⅰ ベーシック韓国語Ⅱ
兼任	講師	山川 清太郎 (43) <令和2年4月> 修士(文学)	ベーシックフランス語Ⅰ ベーシックフランス語Ⅱ
兼任	講師	松本 朋子 (42) <令和2年4月> 博士(文学)	(留) 日本語総合Ⅰ (留) ビジネス日本語Ⅰ (留) 新聞読解演習
兼任	講師	塩谷 尚子 (46) <令和2年4月> 修士(言語文化学)	(留) 日本語総合・会話 基礎Ⅰ (留) 日本語総合・会話 基礎Ⅱ (留) 日本語総合・会話 応用
兼任	講師	廣坂 直子 (48) <令和2年4月> 修士(文学)	(留) 日本語総合 基礎Ⅰ (留) 日本語総合 基礎Ⅱ (留) 日本語総合 応用Ⅰ (留) 日本語総合 応用Ⅱ
兼任	講師	小園原 敬夫 (61) <令和2年4月> 博士(文学)	(留) 日本語作文 基礎Ⅰ (留) 日本語作文 基礎Ⅱ (留) 日本語作文 応用
兼任	講師	大久保加奈子 (44) <令和2年4月> 博士(文学)	(留) 日本語文学・語彙 基礎Ⅰ (留) 日本語文学・語彙 基礎Ⅱ (留) 日本語文学・語彙 応用

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	廣川 淳之 (53) <令和2年4月> 博士(法学) 法務博士(専門職)	知的財産
兼任	講師	一言 真佐子 (47) <令和2年4月> 修士(法学)	人権の歴史と現代
兼任	講師	橋本 章彦 (54) <令和2年4月> 博士(文学)	宗教学
兼任	講師	樋口 喜朗 (57) <令和2年4月> 修士(文学)	哲学概論
兼任	講師	松井 朋子 (45) <令和2年4月> 教育学修士(社会)	サービス・ラーニング
兼任	講師	新 典 (62) <令和2年4月> 博士(文学)	ベーシック中国語Ⅰ ベーシック中国語Ⅱ
兼任	講師	方 登雄 (55) <令和2年4月> 修士(文学)	ベーシック韓国語Ⅰ ベーシック韓国語Ⅱ
兼任	講師	山川 清太郎 (43) <令和2年4月> 修士(文学)	ベーシックフランス語Ⅰ ベーシックフランス語Ⅱ
兼任	講師	松本 朋子 (42) <令和2年4月> 博士(文学)	(留) 日本語総合Ⅰ (留) ビジネス日本語Ⅰ (留) 新聞読解演習
兼任	講師	塩谷 尚子 (46) <令和2年4月> 修士(言語文化学)	(留) 日本語総合・会話 基礎Ⅰ (留) 日本語総合・会話 基礎Ⅱ (留) 日本語総合・会話 応用
兼任	講師	廣坂 直子 (48) <令和2年4月> 修士(文学)	(留) 日本語総合 基礎Ⅰ (留) 日本語総合 基礎Ⅱ (留) 日本語総合 応用Ⅰ (留) 日本語総合 応用Ⅱ
兼任	講師	小園原 敬夫 (61) <令和2年4月> 博士(文学)	(留) 日本語作文 基礎Ⅰ (留) 日本語作文 基礎Ⅱ (留) 日本語作文 応用
兼任	講師	大久保加奈子 (44) <令和2年4月> 博士(文学)	(留) 日本語文学・語彙 基礎Ⅰ (留) 日本語文学・語彙 基礎Ⅱ (留) 日本語文学・語彙 応用

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	廣川 淳之 (54) <令和2年4月> 博士(法学) 法務博士(専門職)	知的財産
兼任	講師	一言 真佐子 (47) <令和2年4月> 修士(法学)	人権の歴史と現代
兼任	講師	橋本 章彦 (54) <令和2年4月> 博士(文学)	宗教学
兼任	講師	樋口 喜朗 (58) <令和2年4月> 修士(文学)	哲学概論
兼任	講師	松井 朋子 (45) <令和2年4月> 教育学修士(社会)	サービス・ラーニング
兼任	講師	新 典 (63) <令和2年4月> 博士(文学)	ベーシック中国語Ⅰ ベーシック中国語Ⅱ
兼任	講師	山川 清太郎 (44) <令和2年4月> 修士(文学)	ベーシックフランス語Ⅰ ベーシックフランス語Ⅱ
兼任	講師	松本 朋子 (42) <令和2年4月> 博士(文学)	(留) 日本語総合・会話 基礎Ⅰ (留) 日本語総合Ⅰ (留) ビジネス日本語Ⅰ (留) 新聞読解演習
兼任	講師	塩谷 尚子 (47) <令和2年4月> 修士(言語文化学)	(留) 日本語文学・語彙 基礎Ⅰ (留) 日本語総合 基礎Ⅰ (留) 日本語作文 基礎Ⅰ (留) 日本語総合 基礎Ⅱ (留) 日本語文学・語彙 基礎Ⅱ (留) 日本語総合 基礎Ⅲ (留) 日本語総合 応用Ⅱ (留) 日本語総合 応用Ⅲ
兼任	講師	廣坂 直子 (48) <令和2年4月> 修士(文学)	(留) 日本語総合 基礎Ⅰ (留) 日本語総合 基礎Ⅱ (留) 日本語総合 応用Ⅰ (留) 日本語総合 応用Ⅱ
兼任	講師	小園原 敬夫 (62) <令和2年4月> 博士(文学)	(留) 日本語作文 応用
兼任	講師	大久保加奈子 (45) <令和2年4月> 博士(文学)	(留) 日本語文学・語彙 応用

(注) ・ 報告年度の9月1日現在の情報を記入してください。過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 「認可申請又は届出時」に「初年度開校時又は届出時の教員等(兼任、専任教員を含む。)」を赤字で記入してください。
その上で、**職員等又は関係者等からも変更となっている箇所は赤字の書き添えとしてください。**
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・ 年単位は、**文化芸術の未来の力と人材の養成**を記入してください。
・ 専任(専門職大学院等、実務、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不属な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の裏は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

教育課程の充実をはかるため、的場 宏次教授の担当科目に「未来展望ゼミ」を追加。
教育課程の充実をはかるため、「コミュニティの再生」担当者を追加（川田耕教授、茅野千江子教授）
教育課程の充実をはかるため、「生命の歩みと未来」担当者を追加（伊豆一郎教授、樋谷智子教授、山下勤教授）
大西信弘准教授の昇格のため、職名を教授に変更、担当科目から「生命の歩みと未来」を削除。
教育課程の充実をはかるため、「グローバル化と多様性」担当者を追加（清水裕子准教授、李立栄准教授、土屋貴裕准教授）
西片聡哉教授のお担当科目から「グローバル化と多様性」を削除。
教育課程の充実をはかるため、「クオリティ・オブ・ライフの探究」担当者を追加（色川豪一講師、服部陽介准教授）
教育課程の充実をはかるため、「健康スポーツ理論」担当者を追加（坂崎富夫教授）
教育課程の充実をはかるため、「スポーツ・ライフスキルⅠ」「スポーツ・ライフスキルⅡ」「スポーツ・ライフスキルⅢ」「スポーツ・ライフスキルⅣ」担当者を追加（寺田進志嘱託講師、成相美紀講師、前田奎講師、鈴木楓太嘱託講師、松木優也嘱託講師）
教育課程の充実をはかるため、「日本経済入門」担当者を追加（小川顕正講師）
教育課程の充実をはかるため、「化学」の担当者を追加（中田隆講師）
教育課程の充実をはかるため、古木圭子教授の担当科目に「未来展望ゼミ」を追加。
教育課程の充実をはかるため、「未来展望ゼミ」の担当者を追加（桑村テレサ准教授、内藤登世一教授、鍛冶宏介教授、茅野千江子教授、山下勤教授、清水裕子准教授、弓削明子講師、Sajid NISAR講師）
外山稔講師退職のため、「生命倫理学」の担当者として追加（渡邊能行教授、樋谷智子教授）
教育課程の充実をはかるため、「健康スポーツ理論」の担当者を追加（渡邊能行教授）
盛岡貴昭講師退職のため、「英語文法Ⅰ」「英語文法Ⅱ」「工学英語Ⅰ」「工学英語Ⅱ」「アクティブ・リーディング」「アクティブ・リスニング」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「英会話Ⅲ」「英会話Ⅳ」「アカデミックライティングⅠ」「アカデミックライティングⅡ」「プレゼンテーション」「ディスカッション」の各科目の担当辞退。
教育課程の充実をはかるため、「工学英語Ⅰ」の担当者を追加（岡迫晃講師、井野崎千代子講師）
教育課程の充実をはかるため、「英会話Ⅰ」の担当者を追加（岡迫晃講師、木戸口英樹講師、名取郁子講師）
教育課程の充実をはかるため、「英会話Ⅱ」の担当者を追加（岡迫晃講師、名取郁子講師）
教育課程の充実をはかるため、「アクティブ・リスニング」の担当者を追加（名取郁子講師、中井いつ子講師）
教育課程の充実をはかるため、「アクティブ・リーディング」の担当者を追加（井野崎千代子講師、中井いつ子講師）
教育課程の充実をはかるため、「英語文法Ⅰ」の担当者を追加（米崎啓和講師、井野崎千代子講師）
教育課程の充実をはかるため、「工学英語Ⅱ」の担当者を追加（中井いつ子講師）

【令和3年度】

長田 博之教授の担当科目に「(留) 日本語読解 基礎Ⅱ」「(留) 日本語作文 基礎Ⅱ」を通知し、「(留) 日本語文法 基礎Ⅱ」を削除。
茅野 千江子教授定年退職後、兼任講師として兼任。
梶原 陽介教授退職のため、「クオリティ・オブ・ライフの探究」担当辞退。
本郷 伸一准教授退職のため、「日本国憲法」担当辞退。（後任を公募中）
吉中 康子教授令和3年度工学部のクラス担当なし。
坂崎 富夫准教授退職のため、「健康スポーツ理論」担当辞退。後任は伊藤克彦准教授。
寺田進志嘱託講師退職のため、「スポーツ・ライフスキルⅠ」「スポーツ・ライフスキルⅡ」「スポーツ・ライフスキルⅢ」「スポーツ・ライフスキルⅣ」の担当辞退。
渡邊 能行講師、担当科目に「健康スポーツ理論」を追加し、「スポーツ・ライフスキルⅠ」「スポーツ・ライフスキルⅡ」を削除。
前田 奎講師の担当科目を「スポーツ・ライフスキルⅡ」「スポーツ・ライフスキルⅢ」「スポーツ・ライフスキルⅣ」を削除。
村川 大輔嘱託講師兼任、担当科目は「スポーツ・ライフスキルⅠ」「スポーツ・ライフスキルⅡ」「スポーツ・ライフスキルⅢ」。
高橋 幸徳嘱託講師兼任、担当科目は「スポーツ・ライフスキルⅠ」「スポーツ・ライフスキルⅡ」「スポーツ・ライフスキルⅢ」。
梶田 和宏嘱託講師兼任、担当科目は「スポーツ・ライフスキルⅠ」「スポーツ・ライフスキルⅡ」「スポーツ・ライフスキルⅢ」。
松木 優也嘱託講師令和3年度工学部のクラス担当なし。
鈴木 楓太嘱託講師令和3年度工学部のクラス担当なし。
小川 顕正講師令和3年度工学部のクラス担当なし。
西村 雄三教授兼任、担当科目は「日本経済入門」。
教員専任教授退職のため、「英語文法Ⅰ」「英語文法Ⅱ」「工学英語Ⅰ」「工学英語Ⅱ」「アクティブ・リーディング」「アクティブ・リスニング」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「英会話Ⅲ」「英会話Ⅳ」「アカデミックライティングⅠ」「アカデミックライティングⅡ」「プレゼンテーション」「ディスカッション」「未来展望ゼミ」の各科目の担当辞退。
桑村 テレサ准教授の担当科目に「英語文法Ⅰ」「英語文法Ⅱ」「工学英語Ⅰ」「工学英語Ⅱ」「アクティブ・リーディング」「アクティブ・リスニング」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「英会話Ⅲ」「英会話Ⅳ」「アカデミックライティングⅠ」「アカデミックライティングⅡ」「プレゼンテーション」「ディスカッション」「上級英語Ⅰ」「上級英語Ⅱ」を追加。
竹内 有子講師、経教、専修委員長教授、南郷 智紀講師、佐藤 嘉穂教授兼任、担当科目はいずれも「未来展望ゼミ」。
野村 悠太兼任講師兼任、担当科目は「ベーシックドイツ語Ⅰ」。
梶 命子兼任講師兼任、担当科目は「ベーシックドイツ語Ⅰ」「ベーシックドイツ語Ⅱ」。
藤ノ原 恵子准教授令和3年度工学部のクラス担当なし。
渡邊 能行教授令和3年度工学部のクラス担当なし。
伊藤 克彦特任教授兼任、担当科目は「生命倫理学」。
三浦 達朗講師、担当科目から「スポーツ・ライフスキルⅠ」「スポーツ・ライフスキルⅡ」を削除。
西 政治講師、令和3年度工学部のクラス担当なし。
金子賢治講師、令和3年度工学部のクラス担当なし。
梶原 伸一講師、担当科目から「英語文法Ⅰ」「英語文法Ⅱ」「アクティブ・リーディング」「アクティブ・リスニング」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「アカデミックライティングⅠ」「アカデミックライティングⅡ」「プレゼンテーション」「ディスカッション」を削除。
前田 太郎講師、担当科目から「英語文法Ⅰ」「英語文法Ⅱ」「工学英語Ⅰ」「工学英語Ⅱ」「アクティブ・リーディング」「アクティブ・リスニング」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「アカデミックライティングⅠ」「アカデミックライティングⅡ」「プレゼンテーション」「ディスカッション」を削除。
前田 美緒講師の担当科目を「アカデミックライティングⅠ」「アカデミックライティングⅡ」に変更。
木戸口 英樹講師の担当科目を「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」に変更。
名取 郁子講師、令和3年度工学部のクラス担当なし。
梶原 幸和講師退職のため、「英語文法Ⅰ」を担当辞退。
井野崎 千代子講師の担当科目から「工学英語Ⅰ」「アクティブ・リーディング」を削除し、「英語文法Ⅱ」を追加。
中井 いつ子講師の担当科目から「工学英語Ⅱ」「アクティブ・リーディング」を削除し、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を追加。
藤原 伸政嘱託講師兼任、担当科目は「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「工学英語Ⅰ」「工学英語Ⅱ」「プレゼンテーション」。
佐々木 大介嘱託講師兼任、担当科目は「英語文法Ⅰ」「英語文法Ⅱ」。
大塚 隆二嘱託講師兼任、担当科目は「工学英語Ⅰ」「工学英語Ⅱ」「アクティブ・リーディング」。
梶田 和宏嘱託講師兼任、担当科目は「アクティブ・リスニング」「プレゼンテーション」「ディスカッション」。
ハーバート 久代嘱託講師兼任、担当科目は「アカデミックライティングⅠ」「アカデミックライティングⅡ」「ディスカッション」。
松木 優子講師の担当科目に「(留) 日本語読解・会話 基礎Ⅰ」を通知。
梶原 有子講師が兼任講師から、専任講師となり、担当科目から「(留) 日本語読解・会話 基礎Ⅱ」を削除し、「(留) 日本語文字・語彙 基礎Ⅰ」「(留) 日本語読解 基礎Ⅰ」「(留) 日本語作文 基礎Ⅰ」「(留) 日本語文法 基礎Ⅰ」「(留) 日本語文字・語彙 基礎Ⅱ」「(留) 日本語文法 基礎Ⅱ」を追加。
高橋 幸子講師の担当科目から「(留) 日本語読解 基礎Ⅰ」を削除。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
17	9
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
10	4	5	0	19	10	10	4	5	0	19	0
(10)	(4)	(5)	(0)	(19)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
10	4	5	0	19	10	10	4	5	0	19	10
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C')}}{\text{設置時の計画 (A')}} = \frac{10}{10} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし。					
合 計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし。					
合 計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{\text{③}-③合計(D)+(F)}{\text{②}-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし。				
合 計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0 科目	必修 0 科目	必修 0 科目	必修 0 科目
		選択	0 科目	選択 0 科目	選択 0 科目	選択 0 科目
		自由	0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目
		計	0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

[illegible]

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していただければ「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 機械電機システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見直しなど
	①新型コロナウイルス感染症の感染防止のための遠隔授業の実施 新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、本学は授業の形態を遠隔授業として2020年度春学期の授業を4月6日より開始した。その後、全国で緊急事態宣言が発出され、特に京都府は「特定警戒都道府県」にも指定されたため、当面5月6日までとしていた遠隔授業を5月7日以降も継続することとし、春学期終了まで遠隔授業とすることとした。遠隔授業の方法は、本学の学修支援システムを活用し、教員による課題提示型の授業によって学生には課題等を提出させ、教員が提点・返却、講評、フィードバックを行っている。また、4月下旬からはTeams、Zoom、TV会議によるオンライン双方向授業を行うなど、双方向の授業形態で実施している。(2) 2021年度春学期の授業については、2020年度秋学期から引き続き対面授業と遠隔授業を併用して実施している。具体的には、実験、実習、演習、資格、スポーツ・ライフスキル(体育実技)、語学では教室定員の50%以下を遵守しながら対面授業を実施し、講義科目は原則として遠隔授業として実施している。(3)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 2013年10月に教育開発センターを設置。当該センターは、本学の教育目的を実現するための諸活動に必要な大学教育に関する情報の収集、調査、分析および提供、IR活動を含む教学に関する企画の立案と実施を図り、教育活動及び教育機能の向上と発展に寄与することを目的とする組織である。センター内で定められた業務に関する事項の審議並びにその業務の運営管理・進捗状況把握・実施における検証・改善すべきプログラム等を検討する機関として教育開発センター委員会を置いている。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 2018年度 FD・SD推進委員会 計5回開催 (2018.4.11, 2018.6.13, 2018.9.19, 2018.11.29, 2019.2.27) 2019年度 FD・SD推進委員会 計1回開催 (2019.4.24) 2020年度 教育開発センター委員会 計13回開催 (月1回定例・各月7名の委員で運営) c 委員会の審議事項等 2018年度FD・SD推進委員会について(計5回開催) 議題 (1) 2018年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について(案) (2) 2018年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて(案) ①FD研修会について②SD研修会について③授業公開について④授業評価アンケートについて ⑤ベストティーチャーにかわる顕彰制度とフォロー制度について (3) 2018年度の委員の分担について (4) 2018年度活動方針について (5) 私立大学等改革総合支援事業について (6) 教員英語力向上ニーズアンケート(案)実施に向けて 報告事項 (1) 2017年度FD・SD推進活動報告書の作成について 2019年度FD・SD推進委員会について(計1回開催、メール審議10回実施) 議題 (1) 2019年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について(案) (2) 2019年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて(案) ①FD・SD研修会について ②授業公開について ③授業評価アンケートについて (3) 2019年度の委員の分担について (4) 委員会開催日程について (5) 学習成果の評価について 2020年度教育開発センター委員会(計13回実施) (1) 2020年度FD・SD研修の事業方針と運営について (2) 2020年度各学部FD(実施方針)について (3) 2019年度FD・SD活動報告書作成 (4) 学修ポートフォリオ(学修成果の可視化)に向けて (5) 学外FD・SD研修委員の選出 (6) カリキュラムマップ整備 (7) 各種アンケート実施(新入生・卒業生・授業評価アンケート・学生意識調査) (8) 各種アンケート集計結果・総括まとめ作成 (9) 授業評価アンケート、改善検討、授業評価員選定基準見直し 等	
---	--

②	実施状況 a 実施内容 2018年度 ・全学FD研修会：科研費の管理運営、スタートアップゼミ担当研修、ルーブリック作成ワークショップなど ・SD研修会：障害のある学生支援、学生対応対策など ・学生アンケートによる授業評価賞：授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰 2019年度 ・全学FD研修会：科研費の管理運営、授業づくりワークショップ、教務システム利用勉強会など ・SD研修会：障害のある学生支援、マナー対策など ・授業公開：前年度に授業評価賞を受賞した教員が授業公開 ・授業公開意見交換会：授業公開直後に、公開された授業に対する意見交換を実施 ・学生アンケートによる授業評価賞：授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰 2020年度 ・全学FD：科研費の管理運営、先端なび利用説明会、遠隔授業での授業方法、SLS科目（大学におけるスポーツ実践教育による国際社会人基礎力への期待） ・全学SD研修会：大学の財政・ハラスメント・ガバナンス等 ・各学部研修会：工学研究科 ①学部FD研修会（各科目の講義内容と実施方法を、学部教員全員で相互に検討する） ②EMI（English-Medium Instruction）のワークショップ ③日本語クラス 対象：工学部外国人教員 ④MATLAB研修会 ⑤遠隔講義方法検討会（利用可能なツールの相互紹介、各科目の実施方法検討） ⑥FLIP授業の勉強会 ・学生アンケートによる授業評価賞・・・授業評価アンケート、高評価の授業担当者を学長表彰 b 実施方法 2018年度 ・全学FD研修会：年9回実施（授業担当者等にはビデオ研修による追加参加申請が可能にしている） ・SD研修会：年8回実施（うち8回は全学FD研修会と共催） ・学生アンケートによる授業評価賞：授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表 2019年度 ・全学FD研修会：年14回実施（授業担当者等にはビデオ研修による追加参加申請が可能にしている） ・SD研修会：年9回実施（うち9回は全学FD研修会と共催） ・授業公開：前年度授業評価賞受賞者の授業を参観し、参観後に意見交換会を実施 ・授業公開意見交換会：授業公開直後に全学FD研修会として実施 ・学生アンケートによる授業評価賞：授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表 2020年度 ・全学FD研修会：年10回実施（オンデマンド配信） ・全学SD研修会：年4回実施（全学FD研修会と共催） ・授業公開：前年度授業評価賞受賞者の授業参観、意見交換会を実施予定であったがコロナ禍のため未実施 ・各学部研修会：工学部 ①学部FD研修会：毎週3～4科目ずつ検討 ②EMI（English-Medium Instruction）のワークショップ・・・5グループに分けて、各グループ週2回合計16回実施 ③日本語クラス 対象：工学部外国人教員：2020年度当初から随時 ④MATLAB研修会：2020年度当初から毎水曜日5回実施 ⑤遠隔講義方法検討会（利用可能なツールの相互紹介）：2020年3月実施 ⑥FLIP授業の勉強会：2019年10月24日カリフォルニア大学Huntzinger博士を招聘し実施 ・学生アンケートによる授業評価賞：授業評価アンケートをもとに教育開発センター委員・教務センター委員が審議し、各学部より表彰者を選出、教育開発センター委員会で最終候補者を決定、大学評議会にて報告。 c 開催状況（教員の参加状況含む） 2018年度 ・全学FD研修会・・・2018.4.18/25（74名）、7.18（25名）、8.1/8（21名）、9.12/13（71名）、11.29（17名） 2018.12.20/25（111名）、12/25（39名）、2019.1.23（44名）、2.27/3.7（82名） ・SD研修会・・・2018.4.18/25（12名）、7.18（9名）、8.1/8（19名）、11.29（10名） 2018.12.20/25（70名）、12.25（5名）、2019.1.23（4名）、2.27/3.7（3名） ・学生アンケートによる授業評価賞・・・学長室で表彰を実施（2019.3.10） 2019年度 ・全学FD研修会・・・2019.4.17/24（82名）、7.5（8名）、7.10（6名）、9.2-3（12名） 2019.9.26（23名）、10.30（17名）、11.6（6名）、11.12（89名） 2019.11.22（2名）、12.9（1名）、12.20（19名）、12.23（23名）、2020.2.7（24名） ・SD研修会・・・2019.4.17/24（18名）、7.5（14名）、9.21（1名）、9.26（11名）、 2019.10.30（48名）、11.12（11名）、11.22（3名）、12.9（1名）2020.2.7（12名） ・授業公開・・・（秋学期）2019.9.21、11.6、11.22、12.9実施（授業評価賞受賞者の授業） ・授業公開意見交換会・・・2019.9.21、11.6、11.22、12.9の全学FD研修会 ・学生アンケートによる授業評価賞・・・各受賞者に表彰を実施（2020年3月以降、COVID-19影響により変更） 2020年度 ・FD/SD研修会・・・1回目（217名）、2回目（225名）、3回目（222名）、4回目（212名） 5回目（202名）、6回目（276名）、7回目（267名）、8回目（270名） 9回目（233名）、10回目（194名） ・工学部FD・SD研修会・・・専門科目を英語で開講するため、全ての工学部所属教員がEMIのワークショップに参加。 ①学部FD研修会・・・20名参加 ②EMI（English-Medium Instruction）のワークショップ・・・20名参加 ③日本語クラス 対象：工学部外国人教員・・・15名参加 ④MATLAB研修会・・・6名参加 ⑤遠隔講義方法検討会（利用可能なツールの相互紹介）・・・20名参加 ⑥FLIP授業の勉強会・・・20名参加 ・学生アンケートによる授業評価賞・・・各受賞者に表彰を実施（2021年3月24日実施・HP公開済み） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 全学FD・SD推進委員会で検討された内容は、各学部のFD委員会において更に検討されている。 授業公開は、2013年度秋学期からは全科目（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く）で実施している。 授業参観後のアンケートをもとに、学部FD研修会等で科目担当者と参観者が活発に意見交換し、授業改善を図っている。 2018年度はさらに効果的な授業公開となるように見直し、2019年度から授業評価賞受賞者による授業公開を実施して授業改善を図っている。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 授業評価アンケートの実施：有 実施時期：春学期・秋学期（各1回） 2018年度 ・授業評価アンケート・・・通常期間2018.7.14～7.27、2018.12.24～2019.1.21 （ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、ウェブシステムを利用して実施） 2019年度 ・授業評価アンケート・・・通常期間2019.7.15～7.28、2019.12.19～2020.1.23 （ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、ウェブシステムを利用して実施） 2020年度 ・授業評価アンケート・・・通常期間2020.7.9～7.27、2021.1.6～2021.1.24 （ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、ウェブシステムを利用して実施） b 教員や学生への公開状況、方法等 授業評価アンケートの結果については、各科目担当の教員へフィードバックされる。担当教員は、受講生の評価・コメント（自由記述欄）に対して「先端なび」を通して回答を行う。科目分野、学部別の評価の集計結果をホームページで公表も行っている。（「先端なび」にて、授業評価アンケート回答⇒教員集計結果および自由記述欄確認⇒教員から授業に関するフィードバックコメントを記載、科目毎に授業改善を行う）。 また当該アンケートを用いて教育開発センター委員および教務主事の意見を参考の上、各学部毎に授業評価賞教員を選出。教育開発センター委員会で決定後、学長が表彰するとともに、ホームページで公表している。
---	---

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学部機械電気システム工学科は、機械分野と電気分野に跨る専門分野の基礎知識を修得した上で、物事の本質を把握し論理的に思考する能力を身に付け、グローバルな視点で社会ニーズに基づく問題を発見し、自らの専門能力を総合的に駆使して適切に解決できる人材の育成を目的としている。

設置2年目の現段階では、専門基礎科目として全分野において基礎となり、進路に関わらず履修すべき基礎的な数学、物理、情報処理の学修を行い、専門科目を履修するための基礎を身に着ける学修を行っている。

2021年度春学期の授業は、2020年度秋学期から引き続き対面授業と遠隔授業を併用して実施しており、実験、実習、演習、資格、SLS（体育実技）、語学では教室定員の50%以下を遵守しながら対面授業を実施し、講義科目は原則として遠隔授業として実施している。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、取り組みを進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年7月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に（公財）日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、平成27年3月に適合の評価結果を得た。このため、令和3年度までに（公財）日本高等教育評価機構の認証評価を受けるべく、学内で準備を進めている。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無

〔 有 ・ 無 〕

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期

〔 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 〕

c 公表方法

〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由

〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

大学番号	大学等名称	学部等名称	学科等名称	その他名称	設置元号	設置年度	設置区分	計画区分
私立199	京都先端科学工学部		機械電気シス		0 令和	2年度	認可	学部の学科

担当者名	電話番号	電話番号	メールアドレス	修業年限	平均入学	開設年度	学生募集	令和3年度	令和3年度
0	0	0	0 4年	0.550.674- 倍	0 220	(	16		

令和2年度科目変更未開講・募集停止定員超過 (学部) (学部) (学部) (学部) (学部)

0 0 0 3 0 17 9 19 19 19

[illegible]

(教職大^ニ (教職大^ニ (教職大^ニ (教職大^ニ (教職大^ニ (教職大^ニ (教職大^ニ (教職大^ニ (専門職^ニ (専門職^ニ
#REF! #REF! #REF! #REF! #REF! #REF! #REF! #REF! #REF! #REF!

・指摘事項の有無